

産業環境委員会報告資料

令和 7 年 1 0 月 9 日

報告事項件名	頁
(1) 環境基金審査会（令和 7 年度第 2 期）の審査結果及び次期募集について . . .	2
(2) 第三次足立区環境基本計画改定版指標の進捗状況について	6

(環 境 部)

産業環境委員会報告資料

令和7年10月9日

件 名	環境基金審査会（令和7年度第2期）の審査結果及び次期募集について														
所管部課名	環境部環境政策課														
内 容	令和7年7月30日（水）に開催した令和7年度第2期環境基金審査会の結果と助成対象活動について、以下のとおり報告する。														
	1 募集と採択														
	(1) 募集期間														
	令和7年4月10日（木）から5月30日（金）まで														
	(2) 応募・採択件数														
	<table><tr><th>部門</th><th>応募 （カッコ内は令和6年度第2期応募数）</th><th>採択 （カッコ内は令和6年度第2期採択数）</th></tr><tr><td>eco U-30 助成</td><td>6 件（8 件）</td><td>5 件（5 件）</td></tr><tr><td>ファーストステップ助成</td><td>2 件（3 件）</td><td>2 件（2 件）</td></tr><tr><td>計</td><td>8 件（11 件）</td><td>7 件（7 件）</td></tr></table>			部門	応募 （カッコ内は令和6年度第2期応募数）	採択 （カッコ内は令和6年度第2期採択数）	eco U-30 助成	6 件（8 件）	5 件（5 件）	ファーストステップ助成	2 件（3 件）	2 件（2 件）	計	8 件（11 件）	7 件（7 件）
	部門	応募 （カッコ内は令和6年度第2期応募数）	採択 （カッコ内は令和6年度第2期採択数）												
	eco U-30 助成	6 件（8 件）	5 件（5 件）												
	ファーストステップ助成	2 件（3 件）	2 件（2 件）												
	計	8 件（11 件）	7 件（7 件）												
ア eco U(アンダー)-30 助成（助成上限30万円※）															
① 子どもや若者（30歳未満）を対象として実施する取組や、若者が主体となって実施する環境活動															
② 書類審査のみ															
※ 同一内容で3年まで申請可とし、2年目以降は上限額を20万円とする。															
イ ファーストステップ助成（助成上限20万円）															
① 新たに開始する環境活動や既存の取組の拡充等が対象															
② 書類審査のみ															
2 採択された活動															
(1) eco U-30 助成															
ア ちょ手間リサイクルラボあやせ															
【申請者 あやせのえんがわ（NPO任意団体）】															
<table><tr><th>活動の概要</th><th>交付決定額 （※）</th></tr><tr><td>子どもを対象に、家庭で廃棄される使用済みの食用油から石けんを作る体験型ワークショップと、油に関するミニ講座を実施する。</td><td>4.8万円</td></tr></table>			活動の概要	交付決定額 （※）	子どもを対象に、家庭で廃棄される使用済みの食用油から石けんを作る体験型ワークショップと、油に関するミニ講座を実施する。	4.8万円									
活動の概要	交付決定額 （※）														
子どもを対象に、家庭で廃棄される使用済みの食用油から石けんを作る体験型ワークショップと、油に関するミニ講座を実施する。	4.8万円														

イ エコでつくろう！未来のアート

【申請者 東京電機大学ボランティア部らいふ】

活動の概要	交付決定額
ペットボトルキャップを使って葉やアクセサリーを作る工作教室を実施し、小学生が楽しみながらリサイクルを学ぶ機会を創造する。	24.8 万円

ウ 食品ロス削減カフェ

【申請者 個人】

活動の概要	交付決定額
規格外の野菜や果物を題材に食品ロスを学ぶ講座を実施する。さらに実際に調理した料理やお菓子の販売、レシピの発信等により啓発活動を展開する。	26.7 万円

エ メイプルシロップを生み出す里山の環境づくり

【申請者 しかはま自然観察会のらえもん（任意団体）】

活動の概要	交付決定額
栃木県の里山に赴き、イタヤカエデの樹液採取等で自然と人との関りを学んだ親子が、区内で発表会を実施し、里山や自然の大切さへの理解を広める。	17.5 万円

オ 第19回クリスマスフェスタによる環境活動

【申請者 東京未来大学地域連携推進委員会】

活動の概要	交付決定額
地域住民が多く来場する大学のイベントで、廃材を使った装飾づくりや、ワークショップの実施等、学生と地域住民双方の環境意識啓発に取り組む。	20.0 万円

(2) ファーストステップ助成

ア 古革製品の再利用と地域住民への周知活動

【申請者 ワーカーズコープ青井】

活動の概要	交付決定額
就労継続支援 B 型作業所で、廃棄される革のアップサイクルを新たに取り入れる。製作した商品をイベント等で販売することで環境意識の啓発を図る。	17.2 万円

イ 花壇整備による緑化と美化活動

【申請者 NPO法人足立さくら会】

活動の概要	交付決定額
青井駅近くでの花壇の設置、整備とごみ拾いを実施し、通行人等の環境意識啓発につなげていく。併せてプラスチック分別の模擬体験も実施する。	19.6 万円

3 今後の方針

- (1) 活動期間中、計画に沿って取組が進められているか経過を確認し、啓発効果を高める周知策の検討やスケジュールの再調整のサポートなど、必要な支援を行う。
- (2) 活動終了後、実績報告書を審査のうえ、交付決定額の範囲内で活動に要した金額を助成する。
- (3) 助成対象期間終了から3年間、取組の継続状況について報告書の提出を求める。

4 環境基金審査会

- (1) 開催日

令和7年7月30日（水） 午前9時から12時まで

- (2) 審査委員の構成（9名中9名出席）

委員区分	役職等	人数
学識経験者	千葉大学大学院社会科学研究院 教授	3名
	東京農業大学地域環境科学部地域創成科学科 教授	
	東邦大学理学部生命圏環境科学科 准教授	
区議会推薦委員	区議会議員	3名
区民委員（※）	公募により決定した区民委員	3名

※ 3名中2名が30歳以下の若者枠

5 次期募集（令和8年度第1期）について

- (1) 募集期間

令和7年12月10日（水）から令和8年1月30日（金）まで

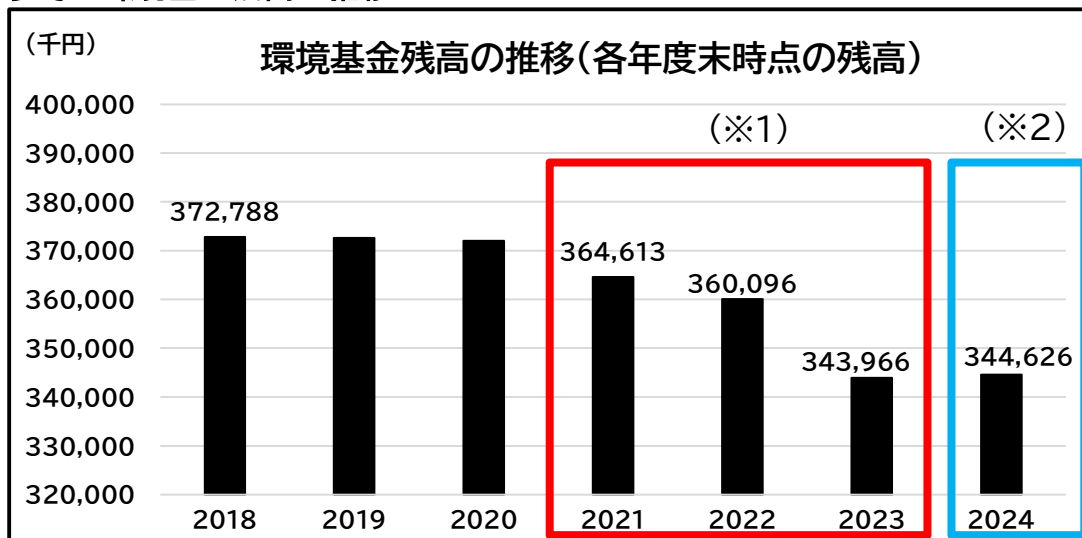
- (2) 周知方法

あだち広報12月10日号、区ホームページ、SNS、大学・高校や各種団体等への案内

- (3) 助成対象となる活動の審査

令和8年3月30日（月）に環境基金審査会を開催する。

参考 環境基金残高の推移



※1 2021年度以降の基金残高が減少している理由

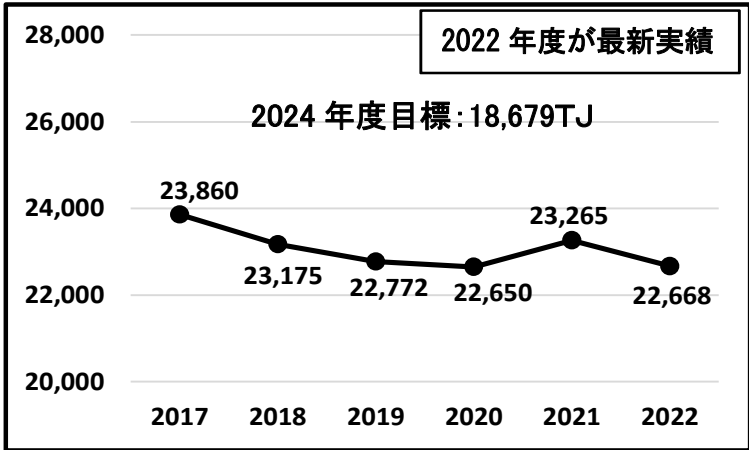
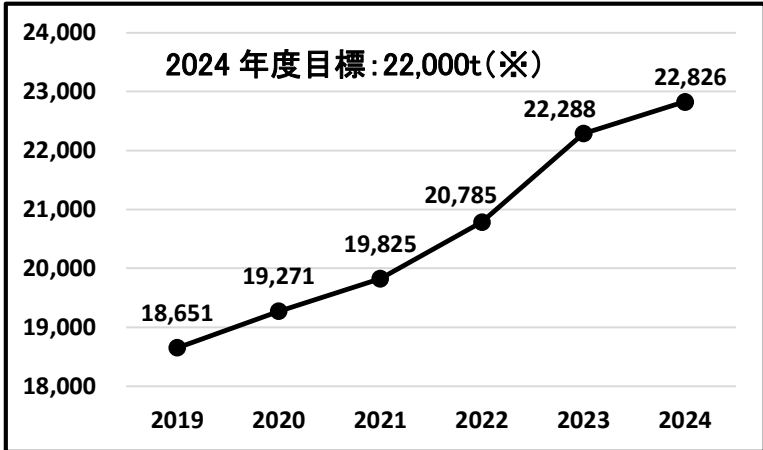
- ① 企業や大学向け周知の強化による高額申請の増加
- ② 庁内の情報発信資源を活用した周知対象の拡大
(NPO活動支援センター、足立区産業情報メールマガジン、
あだちSDGsパートナー向け等)

※2 2024年度の基金残高対前年度比微増の理由

寄附金収入(前年度分)の増加及び預金利子収入の増加

産業環境委員会報告資料

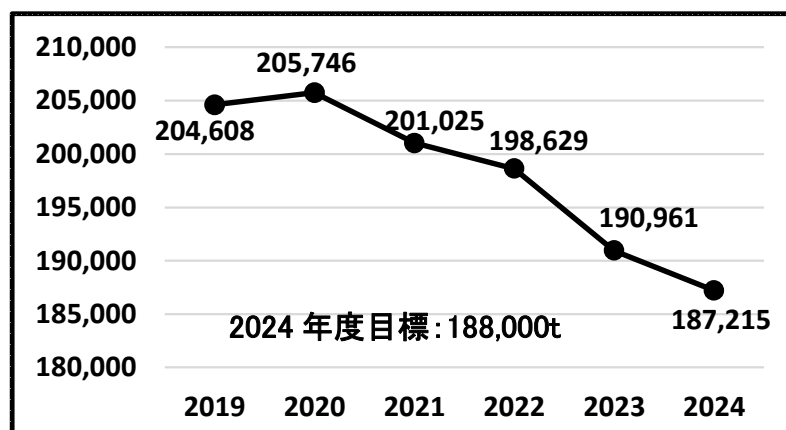
令和7年10月9日

件 名	第三次足立区環境基本計画改定版指標の進捗状況について
所管部課名	環境部環境政策課
内 容	2024（令和6）年度の実績について、概要を報告する。 1 主な成果指標の実績と考察 （1）区内のエネルギー使用量（TJ）【低減目標】  （区全体のエネルギー使用量） 2021年度 23,265TJ ➡ 2022年度 22,668TJ（597TJ、2.6%減） 【エネルギー使用量前年度比減の理由】 家庭部門のエネルギー使用量の減少が区全体のエネルギー使用量減少に大きく寄与した。 （家庭部門のエネルギー使用量） 2021年度 10,159TJ ➡ 2022年度 9,061TJ（558TJ、5.5%減） ※ 2021年度は新型コロナウイルス感染対策による外出自粛等でエネルギー使用量が増加している。 （2）再生可能エネルギーの導入による二酸化炭素排出削減効果量（t）  ※ 22,000 t は、杉の木の年間二酸化炭素吸収量に換算するとおよそ 157 万本分に相当する。

CO₂削減効果量は前年度比増となり、計画目標である 22,000 t を達成した。

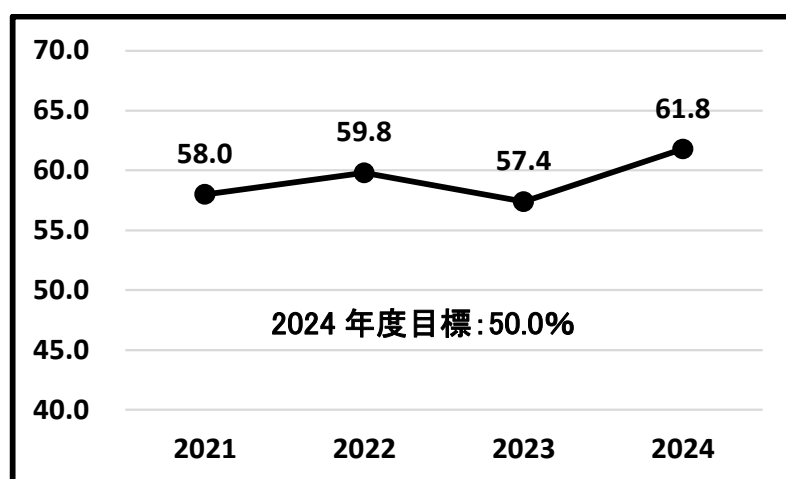
区内の再生可能エネルギー導入量は、前年度比で大幅に増加したものの、CO₂削減効果量の算定に使用する係数が 2024 年度実績分から見直された影響で、削減効果量の伸び率は前年度に比べ鈍化している。

(3) 区が把握できる廃棄物の量 (t) 【低減目標】



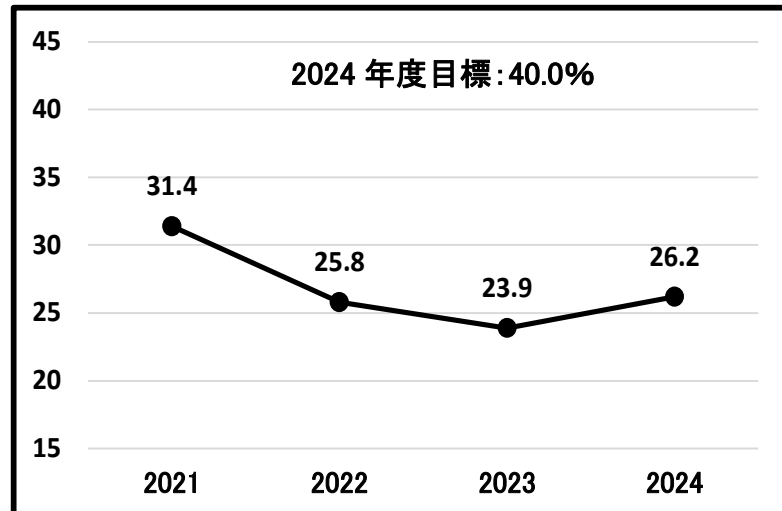
区収集ごみ（主に家庭ごみ）、事業系持込ごみが前年度比で減少し 2024 年度目標を達成することができた。また、区民 1 人 1 日あたりのごみ量も減少している。内訳は別添資料参照。

(4) ごみがなく地域がきれいになったと感じる区民の割合 (%)



世論調査の居住地域の評価に関する質問項目（2021 年度に新規設定）地域清掃活動や不法投棄対策等の取組の効果もあり、地域がきれいになっていると感じる区民の割合は前年度実績から大幅に増加した。

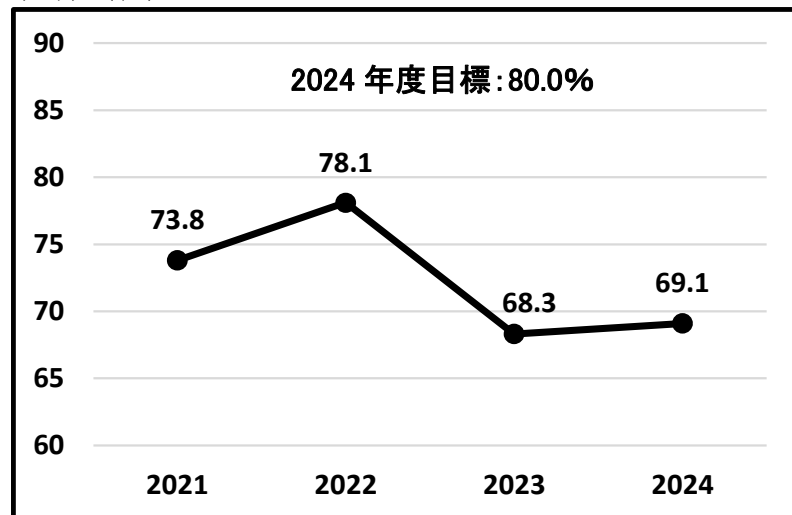
(5) 自然環境を大切にすることを心がけている区民の割合 (%)



世論調査の環境のために心がけていることに関する質問項目（2021年度新規設定）

生物多様性や植物の育成、川の水質保全（油や野菜くずを水道で流さない）のような自然環境を意識する人の割合は、省エネルギーやごみの分別など他の環境保全の取組と比べ低く、計画目標を達成することができなかった。

(6) 日頃から環境への影響を考えて具体的に行動していると答えた区民の割合 (%)



世論調査の環境への影響を考えた日頃からの行動の有無に関する質問項目（2021年度新規設定）。「行動している」「行動することが時々ある」を選択した人が占める割合を示している。

性別では特に大きな違いはないが、年齢層別でみると、20歳代から50歳代までが70%台であるのに対し、60歳以上の年代では60%台となっている。

2 全成果指標の2024年度実績と計画目標（2024年度）の達成率

（表中の◆は低減目標）

（1）柱1 地球温暖化・エネルギー対策

成果指標	実績	2024年度 目標	達成率	達成率 前年度比
区内のエネルギー使用 量(TJ)◆	22,668	18,679	82.4%	+2.1pt
再生可能エネルギーの 導入による二酸化炭素 排出削減効果量(t)	22,826	22,000	103.8%	+2.5pt
区内の二酸化炭素吸収 量(t)	3,615	3,900	92.7%	△0.2pt
熱中症や気象災害によ る死者数(人)◆	25	0	0%	±0.0pt

（2）柱2 循環型社会の構築

成果指標	実績	2024年度 目標	達成率	達成率 前年度比
区が把握できる廃棄物 の量(t)◆	187,215	188,000	100.4%	+2.0pt
燃やすごみに含まれる 資源化物の割合(%)◆	13.0	14.8	113.8%	+3.4pt
資源化率(%)	19.8	21.5	92.1%	+2.8pt

（3）柱3 生活環境の維持・保全

成果指標	実績	2024年度 目標	達成率	達成率 前年度比
公害苦情の相談件数 (件)◆	405	232	57.3%	+5.7pt
ごみがなく地域がきれ いになったと感じる区 民の割合(%)	61.8	50.0	123.6%	+8.8pt

（4）柱4 自然環境・生物多様性の保全

成果指標	実績	2024年度 目標	達成率	達成率 前年度比
自然環境を大切にす ることを心がけている区 民の割合(%)	26.2	40.0	65.5%	+5.7pt
まちなかの花や緑が多 いと感じる区民の割合 (%)	62.6	64.4	97.2%	+4.0pt

(5) 柱5 学びと行動のしくみづくり

成果指標	実績	2024 年度 目標	達成率	達成率 前年度比
日頃から環境への影響 を考えて具体的に行動 していると答えた区民 の割合(%)	69.1	80.0	86.4%	+1.0pt
自主的な環境保全活動 数(回)	9,399	1,400	671.4%	△16.2pt

3 今後の方針

- (1) 環境審議会に諮問し策定を進めている第四次環境基本計画では、最新実績や推移を踏まえた新たな指標と、適切な目標値を検討する。
- (2) 最新の実績を庁内外に広く情報発信するとともに、今後は特に再生可能エネルギーの導入拡大、ごみの減量に注力し、地球温暖化対策の充実を図っていく。